

算数科における基礎基本の定着を目指して

【八潮市教育委員会】

1 学校・学年・教科 小学校・全学年・算数

2 ねらい

算数科における基礎基本の定着のために、授業だけではなく、多岐にわたる取組により、児童の興味関心を高め、算数の楽しさを味わうことができる児童を育成する。

3 取組内容

(1) 授業での取組の充実

① 問題解決学習

算数の学習の進め方を教室の前面に掲示し、問題解決学習を中心に学習の進め方の共通理解を図った。自力解決の時間を確保し、自分の考えが持てるようにした。発表の場面では、ポイントを明確にして、練り上げられるようにした。

| | | |
|---|---|-------|
| だ | … | だれでも |
| い | … | いつでも |
| は | … | はやく |
| か | … | かんたんに |
| せ | … | せいかくに |

② 算数コーナーの活用

自力解決の際に既習事項が想起できるようにするために、学級の側面に算数コーナーを設置した。児童が自力解決で書いた物やまとめた物を掲示するようにした。

③ 指導形態の工夫

担任による授業だけではなく、TTや少人数指導を行い、より個に応じた支援ができるようにした。少人数指導では、習熟度別だけではなく、課題別に分けることも行った。

④ ノート指導の充実

全校でノートの書き方をある程度統一した。ノート指導のためには、板書が重要であるので、板書のポイントの研修を行った。また、お手本となるノートを全校児童が通る廊下に掲示したり、学級通信に載せたりして、児童の励みとなるようにした。

(2) 授業以外での取組

① スペシャルタイムの実施

月1回10問程度の小テストを朝の時間を活用して行った。全員が合格するまで、何度でも繰り返し行った。合格者には、校長より認定証を渡して、児童の励みとした。

② 八潮ベーシックの活用

家庭学習で、学年×10+10分を目安に（例；4年生=4×10+10=50分）算数の練習問題を行い、基礎基本の定着を図った。家の人にも、チェックをしていただくようお願いをした。八潮ベーシックは、小学校3年生から中学校3年生までの基礎基本の定着を図り、八潮市が小中一貫教育の推進のために作成したものである。

③ 長期休業日の利用

夏季休業日を活用し、基礎基本の定着のために補習を行った。1日1時間で、8日間行った。中学生にもお手伝いをお願いし、中学生が分かりやすく小学生に教える姿が見られた。

4 取組の成果

自分の考えを持ち、発表できる児童が増え、算数の楽しさを味わえるようになってきている。